

令和 7 年三重県議会定例会

教育警察常任委員会

所 管 事 項 調 査

1 犯罪情勢について

資料 1 犯罪情勢 1 頁

2 少年非行防止・被害防止対策について

資料 2 少年非行防止・被害防止対策 3 頁

3 交通安全対策について

資料 3 交通安全対策 4 頁

令和 7 年 1 月 12 日
警 察 本 部

犯罪情勢

1 刑法犯

	R2	R3	R4	R5	R6	R6.10	R7.10	前年同期比
認知件数	8,560	7,410	7,647	9,955	10,933	9,257	8,919	-338
検挙件数	3,591	3,421	2,953	3,810	3,626	2,777	3,268	491
検挙人員	1,863	1,846	1,796	2,116	2,397	1,851	1,748	-103
検挙率	42.0%	46.2%	38.6%	38.3%	33.2%	30.0%	36.6%	6.6P

○ 窃盗犯の検挙によって検挙件数が増加

2 重要犯罪

	R2	R3	R4	R5	R6	R6.10	R7.10	前年同期比
認知件数	71	97	93	116	120	100	122	22
検挙件数	71	87	92	90	93	73	112	39
検挙人員	70	72	78	82	92	62	97	35
検挙率	100.0%	89.7%	98.9%	77.6%	77.5%	73.0%	91.8%	18.8P

○ 殺人、強盗、不同意性交等の着実な検挙によって検挙率が向上

* 重要犯罪とは、殺人、強盗、不同意性交等、不同意わいせつ、放火、略取誘拐及び人身売買をいいます。

3 重要窃盗犯

	R2	R3	R4	R5	R6	R6.10	R7.10	前年同期比
認知件数	1,015	750	840	1,329	1,291	1,102	1,180	78
検挙件数	609	690	324	763	500	324	552	228
検挙人員	82	94	87	89	82	68	56	-12
検挙率	60.0%	92.0%	38.6%	57.4%	38.7%	29.4%	46.8%	17.4P

○ 検挙件数の約9割が侵入窃盗（約7割の増加）

* 重要窃盗犯とは、窃盗犯のうち、侵入窃盗、自動車盜、ひったくり及びすりをいいます。

4 特殊詐欺

	R2	R3	R4	R5	R6	R6.10	R7.10	前年同期比
認知件数	122	110	142	274	367	285	408	123
被害金額(約一円)	42,820	19,250	37,630	70,760	120,000	89,540	142,820	53,280
検挙件数	100	37	39	45	57	47	69	22
検挙人員	27	17	18	15	24	20	10	-10

○ オレオレ詐欺の被害が非常に大きい（175件、約10億6,980万円）

* 特殊詐欺とは、オレオレ詐欺、預貯金詐欺、架空料金請求詐欺、融資保証金詐欺、還付金詐欺、金融商品詐欺、ギャンブル詐欺、交際あっせん詐欺、その他特殊詐欺、キャッシングカード詐欺盗をいいます。

5 SNS型投資・ロマンス詐欺

	R5	R6	R6.10	R7.10	前年同期比
認知件数	119	299	256	305	49
うち投資	113	172	153	186	33
うちロマンス	6	127	103	119	16
被害金額(約一円)	115,970	266,960	235,020	286,600	51,570
うち投資	115,230	172,540	163,330	178,540	15,210
うちロマンス	740	94,430	71,700	108,060	36,360
検挙件数	11	16	14	15	1
検挙人員	5	3	3	2	-1

○ 被害件数・被害額ともに、10月末時点で過去最多

* SNS型投資・ロマンス詐欺とは、SNS等を通じて、対面することなく、交信を重ねるなどして関係を深めて信用させ、指定した預貯金口座への振り込みその他の方法により金銭等をだまし取る詐欺をいいます。

* R5は集計方法が異なるため参考数値です。

6 薬物犯罪

	R2	R3	R4	R5	R6	R6.10	R7.10	前年同期比
検挙人員	115	106	74	92	93	87	96	9
うち覚醒剤	79	77	47	63	62	59	59	0
うち大麻	31	24	22	29	25	22	29	7
うちその他	5	5	5	0	6	6	8	2

○ 大麻取締法違反で検挙した被疑者のうち20歳代が最多

* その他とは、「麻薬及び向精神薬取締法違反（大麻事犯を除く。）」「あへん法違反」「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律違反」をいいます。

少年非行防止・被害防止対策

1 少年非行防止に向けた取組

(1) 少年非行の現状

	R2	R3	R4	R5	R6	R6. 10末	R7. 10末	前年同期比
刑法犯少年	197	217	177	237	326	258	315	+57
うち触法少年	22	45	29	27	39	38	24	-14
特別法犯少年	37	41	29	42	36	31	31	±0
うち触法少年	6	10	5	3	0	0	3	+3

(2) 非行防止対策

- 非行防止教室による啓発活動
年齢層に応じた各種非行防止教室の実施
- 犯罪実行者募集情報への加担防止対策
 - ・ 様々な媒体を活用した広報啓発
 - ・ 少年院、少年鑑別所等における特別非行防止教室の実施
- 少年サポートセンターによる支援活動
 - ・ 非行少年等に対する立ち直り支援活動
 - ・ 少年警察ボランティアと連携した居場所づくり活動



【少年院での特別非行防止教室】

2 SNSに起因する犯罪被害防止対策

(1) SNSに起因する被害状況

	R2	R3	R4	R5	R6	R6. 10末	R7. 10末	前年同期比
被 告 児 童 数	12	11	22	24	20	14	8	-6

(2) 被害防止対策

- SNSやネットトラブル防止教室等での啓発
- 少年警察学生ボランティア、事業者等と連携した啓発活動
- 教育委員会、学校等と連携した児童・生徒に対する注意喚起
- サイバーパトロールによる注意喚起・警告



【学生ボランティア作成の啓発動画】



【カラオケボックス・商業施設での動画放映】



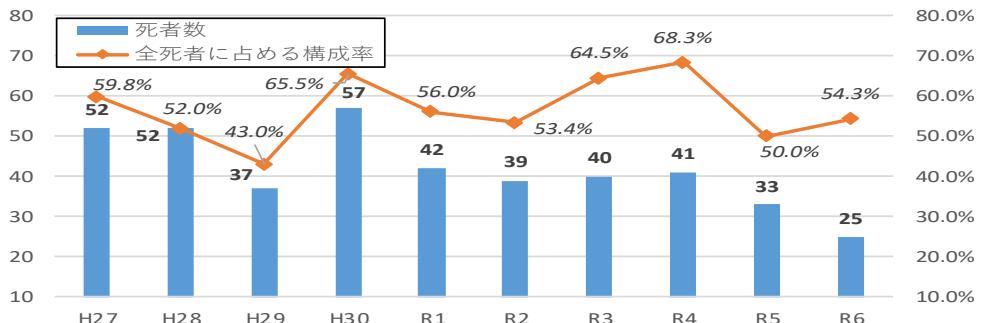
交通安全対策

1 交通事故情勢

(1) 令和7年中の県内の交通事故発生状況（10月末）

区分	令和7年10月末	令和6年10月末	前年同期比	令和6年中
人身事故件数	2,082	2,259	-177	2,724
死亡事故	43	36	+7	45
死傷者数	2,541	2,829	-288	3,380
死者	48	36	+12	46
うち高齢死者	28	18	+10	25
構成率	58.3%	50.0%	+8.3P	54.3%

(2) 高齢死者の推移（過去10年間：全死者742人中 高齢死者418人）

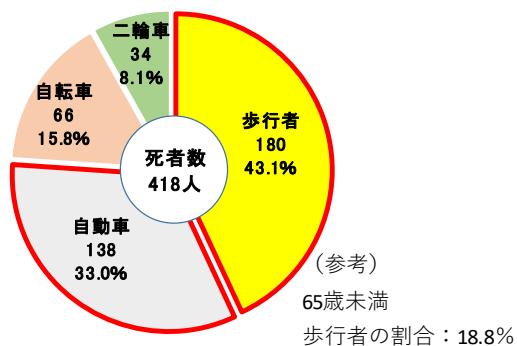


※ 全死者に占める構成率（10年平均）：全国55.6%・三重県56.8%

(3) 高齢者の死亡事故の特徴（過去10年間）

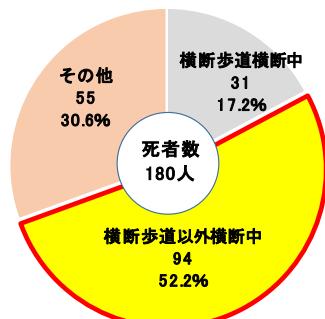
①状態別

歩行者次いで自動車が多い



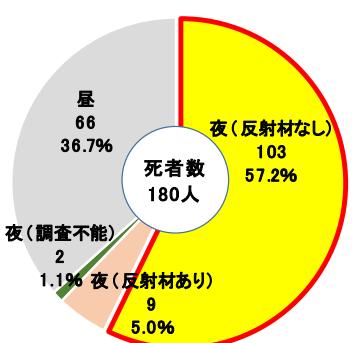
②歩行中の事故類型別

歩行中は、横断歩道以外横断中が約5割



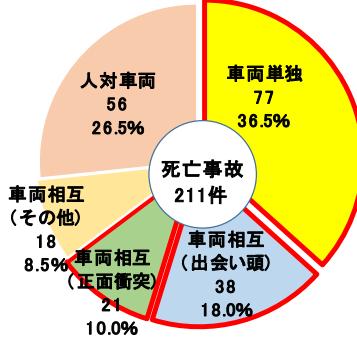
③歩行者の昼夜別（反射材あり・なし）

夜間の反射材なし方が約6割



④高齢運転者の事故類型別

車両単独次いで出会い頭事故が多い



2 高齢者の交通事故防止対策

(1) 歩行者対策

運転免許を保有せず、運転免許の更新時講習等交通安全教育を受ける機会の少ない方に対しては、

- 参加・体験・実践型の交通安全教育
- 反射材の普及促進
- 「横断歩道“ハンドサイン”キャンペーン」の推進
- 高齢者交通安全アドバイザーによる高齢者宅訪問指導活動等を関係機関・団体等と連携して推進しています。

(2) 運転者対策

ア 複数回事故を起こした運転者に対する個別指導等

加齢に伴う身体機能の変化が運転行動に及ぼす影響等を踏まえ、

- 過去1年間に3回以上の交通事故を起こした70歳以上の運転者を対象とした個別指導
- 可搬式の自動車シミュレータを活用した出前型交通安全教育を実施しています。

イ 自主返納しやすい環境整備

訪問による申請受理、交番・駐在所での申請受理、代理人による申請受理、日曜窓口の受付時間拡充など、申請者の利便性の向上を図っています。

	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7.10末
自主返納件数	7,622	7,140	6,602	5,930	6,602	5,388
65歳以上	7,324	6,879	6,390	5,755	6,382	5,180
構成率(%)	96.1	96.3	96.8	97.0	96.7	96.1
75歳以上	5,129	4,842	4,929	4,669	4,856	3,921
構成率(%)	67.3	67.8	74.7	78.7	73.6	72.8

ウ 安全運転相談窓口の設置

運転に不安を覚える高齢運転者や家族などの安全運転相談を、安全運転相談ダイヤルで受け付けています。

安全運転相談ダイヤル
#8080
シャープ ハ レ バ レ

エ 運転免許更新時における高齢者講習等（70歳以上）の実施

